

個に応じた指導の工夫

【羽生市教育委員会】

1 学校、学年、教科 中学校、全学年、国語・数学

2 ねらい 教科担任が生徒の学力の実態を把握し、個に応じた指導の充実を進める。

3 取組内容

本校の国語科、数学科では、教育に関する3つの達成目標「学力」達成目標（読む・書く・計算）をもとに、生徒一人一人の学力を把握し、個に応じた指導に取り組んでいる。

① 国語

○ 漢字フラッシュカード

授業の最初に、一斉読み、指名読みを繰り返し行うことで、言語（漢字）の基礎・基本の徹底を行った。また、音読することにより授業の活性化への足がかりとした。

○ 朝読書の推奨

本校では、毎朝10分間、全クラスで朝読書に取り組んでいる。本の紹介などを定期的に行い、読書の奨励を行っている。興味・関心を高めていくことで読解力の向上（読む力）につなげていきたい。

○ 教材ごとのまとめ作文・添削

教材ごとに課題を変え、50～100字程度のまとめ作文を行っている。個別に添削することにより、個に応じた丁寧な指導が可能になった。書く力の向上に効果的である。

② 数学

○ 個に応じた指導

数学が苦手な生徒に対して、休み時間や放課後等を利用し個々に対応している。数学嫌いな生徒を少なくすることにつなげていきたい。

また、長期休業中にはサマースクールを実施し、数学が得意な生徒に対しては意欲をさらに高めるため、苦手な生徒には、苦手克服のきっかけになるようにしている。

○ 自己評価シートの活用

授業開始5分程度を使用し、生徒たちが特に苦手としている分数の計算を行っている。これをきっかけに、分数への抵抗感を少なくするとともに、計算全般の能力向上につなげていきたい。

また、毎授業の取り組み状況を生徒自身に評価させることで、授業をより活性化させるきっかけとした。

数学 自己評価シート

年 組 番 氏名

理解度の記入：5（9割以上）、4（7～8割くらい）、3（4～6割くらい）
2（2～3割くらい）、1（1割くらい）

取り組みの記入：A（積極的にできた）、B（ふつう）、C（積極的にできなかった）

月 日	今日の分数	理解度	授業を 振り返って
		取り組み	
/			

4 成果と課題

朝読書の取り組みを始めることによって、生徒の物事に対する集中力が高まってきた。また、分数の計算を行うことで分数に対する抵抗感が少なくなった。

しかし、計算力が向上したかどうかの確認をするまでには至ってないので、今後計算コンテスト等を行い、計算力向上のための取り組みをさらに発展させたい。